

里地里山ツアー

平成25年5月12日、赤目インタープリター研究会主催によるエコツアーが開催されました。市内から集まった約20名の参加者と一緒に、赤目の魅力を再発見するツアーに出発しました。

わたしたちがご案内します!



「自然・植物」、「歴史」、「動物」など、ジャンルごとに色分けした腕章をつけ、それぞれの得意分野を活かしたインタープリテーションを行います!

里地里山コース

近鉄 赤目駅前「旅のステーション」から赤目四十八滝入口までの約6キロのコース。所要時間:約5時間



豊かな自然、地域の暮らし、文化や歴史

Start!

1 旅のステーション出発!



▲快晴の朝。ツアーの参加者を見送るため、地域の人たちも「旅のステーション」前に集まりました。

2 田園プロムナード



▲ここからは美しい景色が見渡せ、散策には最適な場所です。田んぼでは、サギやケリなどの野鳥も見られました。

3 柏原城跡



▲柏原城は天正9年、伊賀国へ侵攻する織田軍と、それを防ぐ伊賀衆が戦った最後の城です。伊賀衆は戦いに敗れ、壊滅した歴史があります。

4 地域の人とのふれあい



▲お話の間もたくさんのツバメたちが飛び交っていました。



オオセンチコガネ



モチツツジ

城跡の入口には案内看板があります!



ツバメとの暮らし

旅のステーションを出発し、緑豊かな田園風景をぬけ、柏原城跡を訪ねました。歴史に詳しいインタープリターより「天正伊賀の乱」についてお話を聞いた後、小道を通り滝川を渡って集落に入ります。

そこで一行は、ツバメとの暮らしを見せてもらうために亀本さん宅を訪ねました。

玄関の中や、軒下などに17ほどの巣があります。ツバメが子育てする3月から9月までの半年間、毎朝5時に戸を開け、夜は親鳥が帰ってきているのを確認してから戸締りをします。また、へビから卵や雛を守るために家の壁にビニールを貼り、登れないようにするなど、ツバメとの暮らしが生活の一部になっています。

亀本さん「ひとつの家の中で暮らしているということは家族も同然です。そういう想いでなければ共生していけません。」